

## 4時から夢塾 「適切なアセスメントによる支援」

第七回「4時から夢塾」は7月15日(水)に、見附小学校の発達通級指導教室の星野泰子先生から、「適切なアセスメント(評価)による支援～出会った子どもから学んだこと～」をテーマに、指導を頂きました。



### 1 はじめに ～4例に絞った話をします～

- ・認知は頭の中のこと⇒情報がどう入ったかは見えない。味覚過敏があって食べない子ども。
- ・特別支援の仕事をしたい。内地留学で新大の長澤正樹先生に「応用行動分析」を学んだ後、千手小、小千谷小、見附小の発達通級指導教室で、300人以上の子どもに関わってきた。

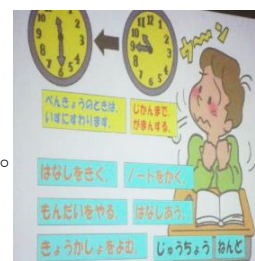
### 2 事例1 友だちをすぐにたたく太郎くん ○ABC分析と機能分析に基づいた適切な行動

- ・ABC分析・先行条件(事前の出来事)と結果事象(結果)から、行動を分析すること。
- ・問題行動を記録する・誘発している事象は何か。行動を増やしている対応は何かを整理。
- ・問題行動には意味があり、それぞれにあった対応を！ ⇒ 子どもの行動を機能分析する。

### 3 事例2 授業中に座ってられない二郎くん

○行動の記録に基づいた目標設定と評価基準

- ・実態把握・「いつ起きやすいか。起きにくいかな。」この記録が大事。
- ・個別の指導計画・学習のルール指導。できそうな課題にすることが大事。



### 4 事例3 すぐイライラしてしまう三郎くん

○イライラのスケール化に基づいたアンガーマネジメント

- ・ストレスにはレベルがある。イライラときは自分でブレーキを。大事なものは「対策」。

### 5 事例4 読み書きが苦手な四郎くん

○読み書きのアセスメント検査に基づいた支援～「見る力」「読み書き」のアセスメント～

- ・担任・授業は見通しをもたせる。本人の行動や思いを友だちに通訳する。
- ・通級指導教室・認知特性に応じた学習指導。ソーシャルスキルトレーニング(グループ・個人)

### 6 まとめとして・子どもの指導で大切なもの

- ・発達には自発的な活動が重要。 ・成功体験をすることで自発性や能動性を維持する。
- ・負の感情(わからない、できない、かなわない)から問題行動 ⇒ 発達の停滞、進行。
- ・今できることを大切に広げる。 ・早期発見・早期対応をする。



- <参加者の声>・実態を見極める大切さ。問題行動には意味がある。なぜ、そうしているのか、その行動を起こすわけは何か・これらのこと大切さについて学び直しをさせてもらった。
- ・問題行動の分析の仕方が分かった。記録の仕方も教えてもらい、やってみようと思った。
  - ・具体的な対応の仕方、特に感情のコントロールができない子どもへの対応が参考になった。
  - ・子どもの行動には、常に理由があるということを中心に留めて、子どもたちに接していきたい。
  - ・子どもを知るにはどのようにすればよいか、具体的な手立てを伺う事ができ、ためになった。